

以下の問題文が正しければ、解答用紙の○を、誤っていれば×をマークしなさい。

- 1 潤滑油には、減摩（摩耗を減らす）の他に、冷却、洗浄、防錆、応力分散などの効果もある。
- 2 エア3点セットを取り付ける場合、その順序は圧縮空気の入り側から、ルブリケーター、レギュレーター、フィルターである。
- 3 安全規則で安全靴の使用や帽子の着用などが規定されていても、必ずしも守る必要はない。
- 4 基本条件を整備するうえでは、ゴミ・汚れの一斉排除と潜在化している欠陥を顕在化し、まずは本来あるべき姿に復元することが重要である。
- 5 人間の特性としてエラーは避けられない。この人的な失敗を「ヒューマンエラー」という。
- 6 環境マネジメントシステムは、環境方針の策定・それに基づく目標設定・計画の策定・実施運用・その評価・見直しの一連のものをいう。
- 7 清掃の効果は、すぐに現れることが少ないので効果測定は不要である。
- 8 安全管理の効果指標として、災害度数率、災害年千人率、災害強度率、損失日数がある。
- 9 「故障ゼロへの5つの対策」の中の「劣化を復元する」には、故障が起こってからの復元も含まれる。
- 10 油圧装置は、長所として、アクチュエーターを小型化することができる。
- 11 定点撮影とは、同じ対象物の改善・改良の変化を刻々とらえる方式であり、数値で表現しにくい現象・状態を写真で評価することができる。
- 12 自主保全第6ステップ（標準化）では、非定常作業は標準化できないので、対象とされていない。
- 13 自主点検が目標時間内に終了できない場合は、点検困難個所として改善を行い、自主点検基準を見直す。
- 14 作業標準は、作業の安全確保のための条件や手順を表すもので、作業効率は考慮されるべきでない。
- 15 故障強度率とは、設備の負荷時間あたりの故障による停止回数の割合である。
- 16 自動化置換ロスとは、材料待ち・台車待ち・工具待ち・指示待ち・故障修理待ちなど、管理上発生する手待ちロスをいう。

出題サンプル 自主保全士検定試験  
正答例【1級 学科試験】

No	正解
1	○
2	×
3	×
4	○
5	○
6	○
7	×
8	○
9	×
10	○
11	○
12	×
13	○
14	×
15	×
16	×

※無断複製転載を禁じます